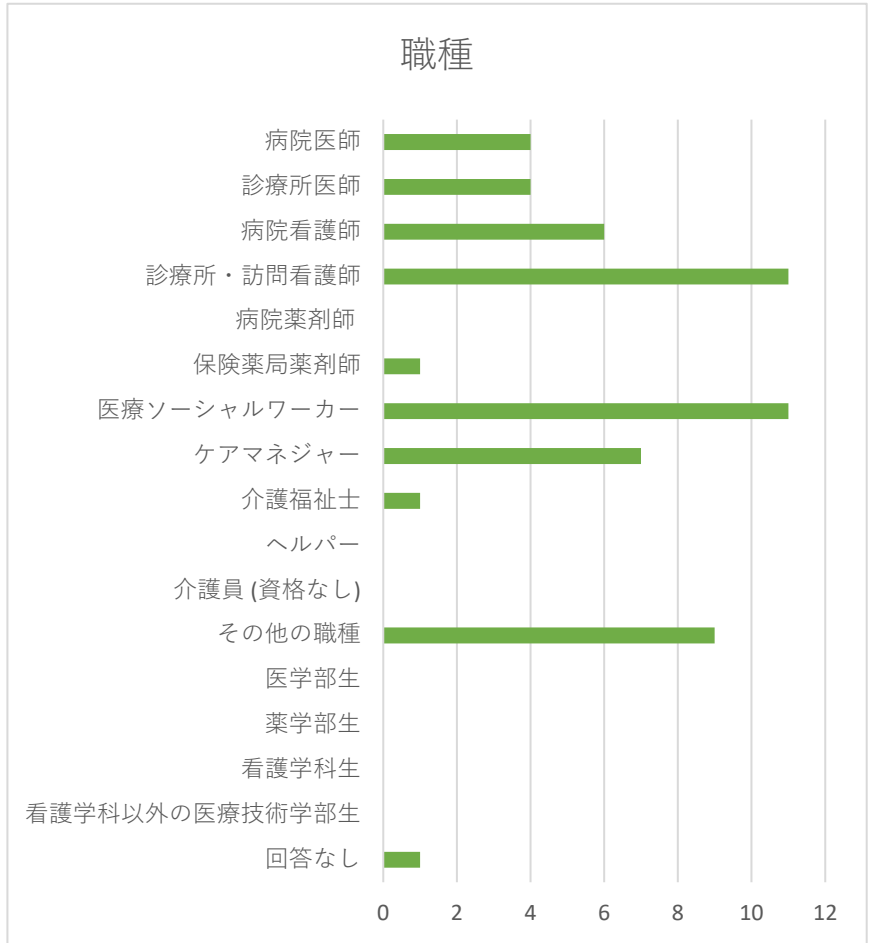


- タ イ ト ル : 第2回 帝京地域包括ケア懇話会  
第23回 帝京がんセミナー  
住み慣れた地域でがん患者さんを支えるチームづくり  
アンケート
- 日 時 : 2019年11月28日(木)18:00~20:45 (開場17:30)
- 会 場 : 帝京大学板橋キャンパス 大学棟本館 2階 207講義室  
東京都板橋区加賀2-11-1
- 対 象 : 医療・介護・福祉・行政従事者、患者さんの療養支援に関わっている方
- 開 催 概 要 : 医療の進歩により、病を患った方がこれまでの生活を続けながら住み慣れた家で暮らしたり、地域で過ごすことができるようになってきました。希望に沿った療養を実現できる地域づくりのためには、医療に加えて、介護・福祉・行政をはじめとする幅広い関連職種が連携して、患者さんやご家族の思いを大切にしながら協働していくことが重要です。がん・非がん疾患に関わらず、患者さんの「よりよくいきる: サバイバーシップを支える」仕組みをどのようにつくっていくかが鍵になります。東京都西北医療圏の在宅療養を支える専門職、教育研修に関わる職種をはじめとするさまざまな関係者が一堂に会し、患者さんにご家族の社会生活を支える視点で、地域包括ケアの実践に向けて話し合います。
- 参 加 者 数 : 104名
- アンケート回収数 : 55

■職種

	回答数	比率
病院医師	4	7.3%
診療所医師	4	7.3%
病院看護師	6	10.9%
診療所・訪問看護師	11	20.0%
病院薬剤師	0	0.0%
保険薬局薬剤師	1	1.8%
医療ソーシャルワーカー	11	20.0%
ケアマネジャー	7	12.7%
介護福祉士	1	1.8%
ヘルパー	0	0.0%
介護員(資格なし)	0	0.0%
その他の職種	9	16.4%
医学部生	0	0.0%
薬学部生	0	0.0%
看護学科生	0	0.0%
看護学科以外の医療技術学部生	0	0.0%
回答なし	1	1.8%
合計	55	100.0%



「その他の職種」とご回答の記入内容

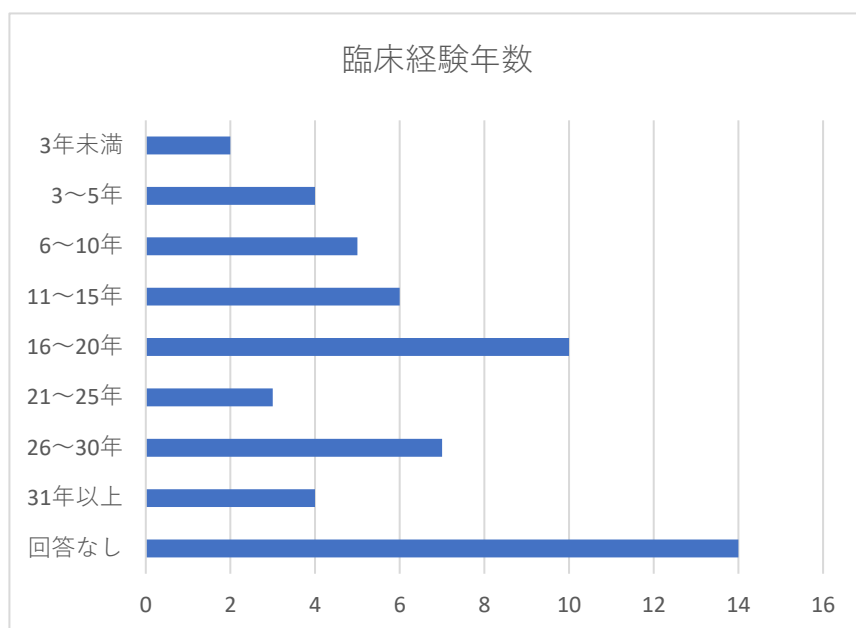
内容
理学療法士
大学教員
教員
相談専門員
リハビリテーション
歯科医師
地域連携担当
大学(薬学部)教員
在宅療養支援窓口相談員(看護師)

■勤務場所をお答えください

	回答数	比率
病院	21	38.2%
病院以外	30	54.5%
回答なし	4	7.3%
回答者数	55	100.0%

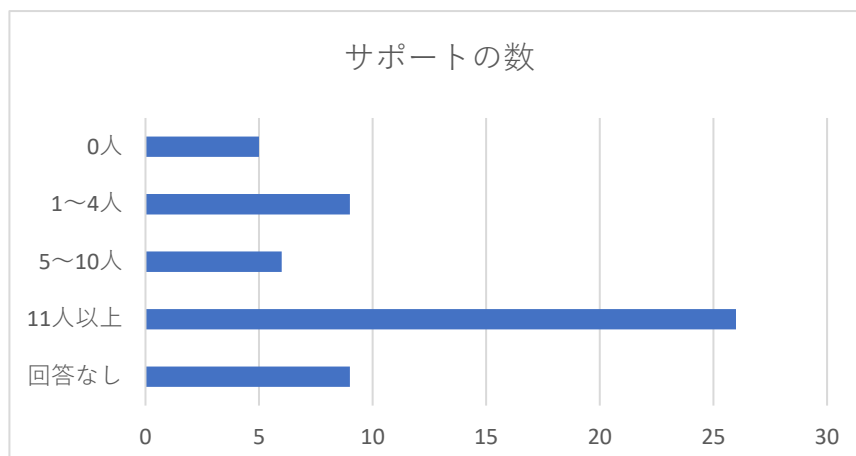
### 臨床経験年数

	回答数	比率
3年未満	2	3.6%
3～5年	4	7.3%
6～10年	5	9.1%
11～15年	6	10.9%
16～20年	10	18.2%
21～25年	3	5.5%
26～30年	7	12.7%
31年以上	4	7.3%
回答なし	14	25.5%
回答者数	55	100.0%



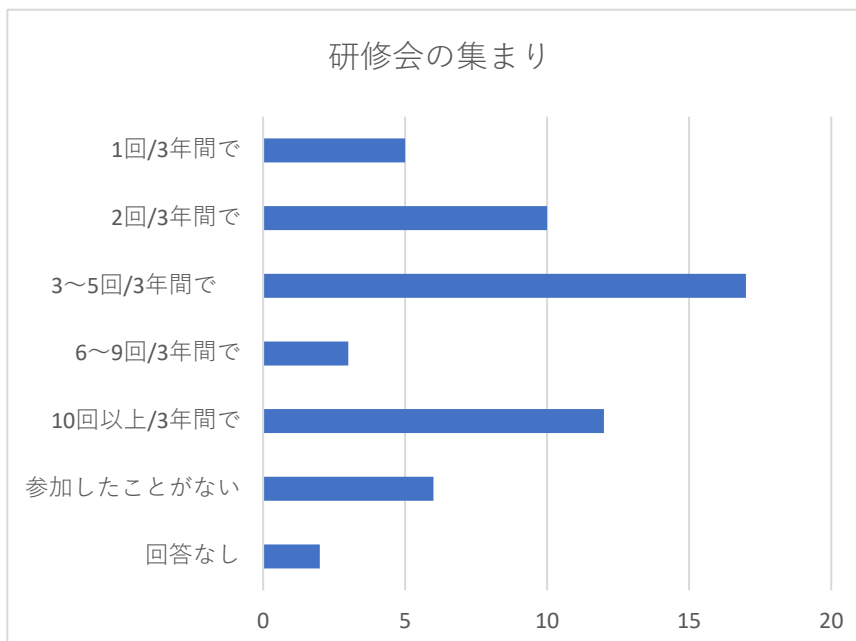
### サポートの数

	回答数	比率
0人	5	9.1%
1～4人	9	16.4%
5～10人	6	10.9%
11人以上	26	47.3%
回答なし	9	16.4%
回答者数	55	100.0%



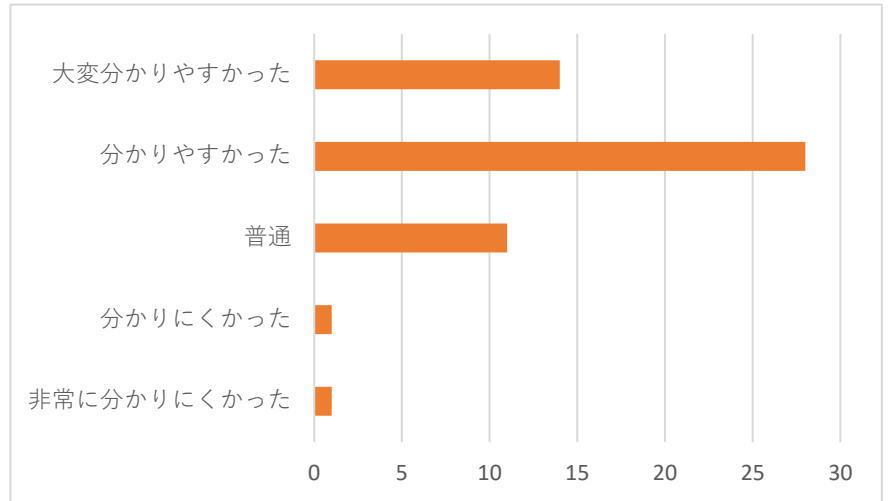
### 多施設多職種対象研修会の集まり

	回答数	比率
1回/3年間で	5	9.1%
2回/3年間で	10	18.2%
3～5回/3年間で	17	30.9%
6～9回/3年間で	3	5.5%
10回以上/3年間で	12	21.8%
参加したことがない	6	10.9%
回答なし	2	3.6%
回答者数	55	100.0%



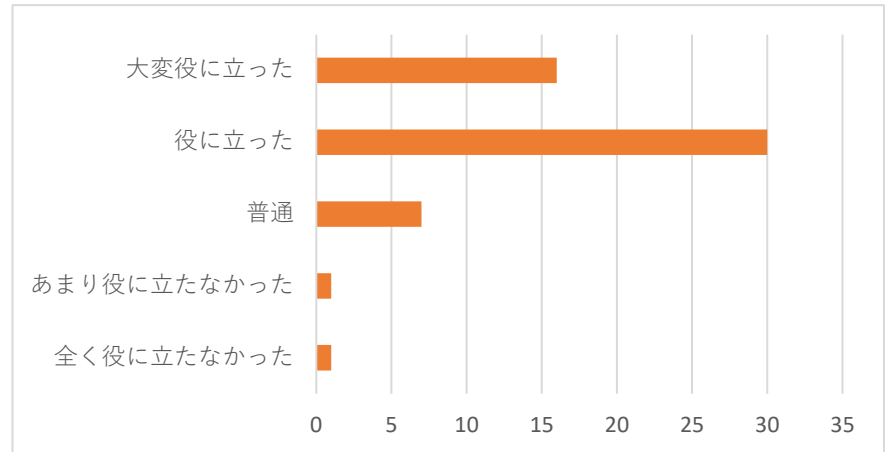
■研修会の「内容」は分かりやすかったですか。

	回答数	比率
大変分かりやすかった	14	25.5%
分かりやすかった	28	50.9%
普通	11	20.0%
分かりにくかった	1	1.8%
非常に分かりにくかった	1	1.8%
合計	55	100.0%



■研修会は役に立ちましたか。

	回答数	比率
大変役に立った	16	29.1%
役に立った	30	54.5%
普通	7	12.7%
あまり役に立たなかった	1	1.8%
全く役に立たなかった	1	1.8%
合計	55	100.0%



【ご意見・ご感想】
日頃より地域連携の難しさに頭を悩ませております。私の地域にもこういった形で話し合える場を作ればと思います。
グループワークではなく、学習会形式の方が参加しやすい。
事例が少し難しい内容でした。
グループワークの時間が短く感じました。
答え方がよくわからなかったです。
他職種の意見、視点に触れられた事がとても良かったです。いろいろと考える機会になりました。
ライングループなど、他業種の方の意見、悩みのシェア出来る場があるといいと思う。
初めて参加させていただきました。講義の話も質疑応答もグループディスカッションも全て有意義でした。
多職種の皆さんと直接お話が出来る大変貴重な会だと思いました。是非年2回開催を！
ありがとうございます。刺激的な時間をいただきました。事例検討を多職種で行える場はさまざまな情報、価値観を知り得るチャンスだと思います。
職種ごとに課題を感じていることなど検討してみるのはいかがでしょうか。
もう少しグループワークの時間があった方が良かったと思った。具体的なテーマ・課題の方が深い話が出来たと思った。
がん末期のご紹介をいただいています。往診を通して患者様に接しています。本日はありがとうございます。
やはり本人・家族の意向、正確に理解してもらえるかどうか、情報を共有、が必要だと思いました。
症例検討の資料が患者さんの情報（パーソナル）や、実際どんなサービスが入っていたのか、などの情報が少なかった。

5. 最後に、「地域における緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト」についてお尋ねします。プロジェクトでは、「がん患者さんご家族のための在宅療養支援情報」の地域への普及と活用を目指しています。在宅療養支援情報（ガイド・概要版）をご覧になった感想、療養支援に必要な情報について、ご意見やご提案をお寄せください。
今後は一般市民も交えた連携会が必要だと思います。
機会があるたび参加します。
まだよく見ていないので、職場でみんなで見させていただきたいと思っています、
神経難病で乳がんの患者さんのメンタルサポートが整っていないで困っています。帝京にかかっている患者さんです。
頻回なセミナーが、必要と思いました。
実はまだ読んでいません。早急に読みます
今日みたいな、少し上手いかない事例を話し合うのは、とても勉強になりますね
今後、拝読させていただきます。
がん末期、最後を家族や住み慣れたところで、と思う気持ちを大切にしていきたいと思っています。これからも宜しくお願い致します。